

公益社団法人 日本測量協会

発表日時：平成29年3月30日(木) 14:00
(資料配付)

第三回『測量・地理空間情報イノベーション大会』開催予告について

公益社団法人日本測量協会(会長 やぐちあきら 矢口彰)は、別紙のとおり第三回『測量・地理空間情報イノベーション大会』を開催しますので、お知らせします。

(問い合わせ先)

公益社団法人 日本測量協会 〒113-0001 東京都文京区白山1-33-18
白山NTビル

住田理事 電話03-3815-5751 (代表)

小島会員部長 電話03-5684-3352 (直通)

第 3 回 『測量・地理空間情報イノベーション大会』 開催予告

【背景】

公益社団法人日本測量協会は、10,000 名を超す正会員を有し、5,000 名近い地理空間情報専門技術者の認定者が登録されている。しかしながら、正会員や地理空間情報専門技術者の多くが会して、測量・地理空間情報技術に関する最新動向を討議する場がこれまでなかった。また、本協会には本部と全国に 10 支部があるが、全国の会員が一堂に集まる場もなかった。

過去においては、当協会を含む測量関連 4 団体の共催で測量機器等の展示とシンポジウムで構成する全国測量技術者大会が開催されたが、2010 年以降は産学官連携による G 空間 EXPO に統合され、これからの G 空間社会やそのための技術等について、広く国民に発信する場として環境が整備された。一方、「測量・地理空間情報」に関する技術をより深耕させ、さらにそれらの技術動向等をプロ向けに発信していく場を十分に整備できているとは言えない。

このような現状を鑑み、「測量・地理空間情報」に関し全国規模で技術的な情報を発信する場を構築することが必要であり、広く業界の関係者が集うことができる「測量・地理空間情報分野の大会」すなわち、「測量・地理空間情報イノベーション大会」を開催する。

イノベーションは「技術革新」と訳される。他に例を見ない独自性の高い技術を開発していくことは、「測量・地理空間情報」分野においても重要であり、これを推進することは公益社団法人である本協会の重要な責務と考え、昨年に引き続き第 3 回「測量・地理空間情報イノベーション大会」を開催する。概要は以下の通り。

【概要】

- 開催日時：平成 29 年 6 月 27 日（火）～28 日（水）
- 大会会場：東京大学伊藤国際学術研究センター（東京都文区本郷 7-3-1）
- 主催：公益社団法人 日本測量協会（日本学術会議協力学術研究団体）
- 共催：スペーシャリストの会（空間情報総括監理技術者の会：SP の会）
ジオメトリストの会（地理空間情報専門技術者の会：GM の会）
- 後援：国土交通省 国土地理院

昨年も同じ東京大学伊藤国際学術研究センターで開催し、同センターと当協会 9 支部の会場を結んで同時中継を行い、延べ 1,800 名を超える参加者があった。第 3 回となる大会のプログラム構成は「測量・地理空間情報」に関する新たなビジネス展開、話題の注目技術、最新技術動向などの他、ポスターセッション、バンダーフォーラムといったテーマとし、より充実した内容とする。

詳細プログラムは月刊「測量」4 月号に掲載するほか、当協会ホームページに 4 月上旬に掲載する。参加申し込みは昨年と同様、当協会ホームページからの事前受付とし 4 月 11 日頃受付を開始する（先着順）。また、本協会の全国 9 支部にも同時中継で配信し、地域会場でも受講可能とする。

第3回 測量・地理空間情報イノベーション大会

於：東京大学伊藤国際学術研究センター・平成29年3月21日(水)時点

主催：公益社団法人 日本測量協会
共催：スペシャリストの会(SPの会)
共催：ジオメトリストの会(GMの会)
後援：国土交通省 国土地理院

平成29年6月27日(火)

| 時間 | 伊藤謝恩ホール | 多目的スペース | ギャラリー 1 | ギャラリー 2 |
|-------------|---|-----------------------------------|---------------------------------------|---|
| 10:00-10:15 | 主催者挨拶・後援挨拶 | | | |
| 10:15-10:50 | i-Constructionの最前線 i-Constructionにおける測量の役割 | 今の測量・地理空間情報技術を知る | GNSSの最前線 | ベンダーフォーラム(その1) |
| 10:50-11:25 | [キセイ]概念を打ち破る[カイゼン]により、UAV測量はどうなったか！ | ポスターセッション (地域小企業を参加しやすいよう配慮) | 10:15-10:40 準天頂衛星システムの概要 | ベンダーフォーラム(UAV関連のみ) 15分×7社 |
| 11:25-12:00 | 活用事例と課題展望(仮) | | 10:40-11:05 マルチGNSSに関する国土地理院の取り組み | |
| | | | 11:05-11:30 屋内外シームレス測位最先端 | |
| | | | 11:30-11:55 国際測地基準とVLBI | |
| 12:00-13:00 | 昼休み | | | |
| 13:00-13:30 | 地理空間情報の高度利活用に向けて 自動運転に貢献する「ダイナミックマップ」の実現に向けて | UAVの基本 UAVレーザーキャニングシステム最前線 | 測量の広がりを知る 森林分野の測量の現状 ー林地台帳の整備に向けてー | 今求められる空間情報コンサルタント (スペシャリストの会) 三次元地理空間情報利活用の最前線(仮) |
| 13:30-14:00 | G空間情報センターと新たな事業(仮) | 出来形管理要領に求められるカメラキャリブレーションと新手法のご提案 | 土砂災害防止法の基礎調査と測量 | i-Constructionにおける3次元地理空間情報の利活用(仮) |
| 14:00-14:30 | | ポスタ展示 | | |
| 14:30-15:00 | グローバル測位補強情報(MADOCA)の利活用に向けて | UAVレーザーの実際(仮) | 測量データを活かした河川管理の高度化 | 土砂災害の緊急調査・応急復旧と3次元地理空間情報の活用 |
| 15:00-15:30 | 自動走行とcm級測位補強サービス | UAVスクールと3次元空間解析クラウドサービス | CIMの動向と今後の展開 | 防災対策における3次元地理空間情報の利用例 |
| 15:30-16:00 | | ポスタ展示 | | |
| 16:00-17:00 | 基調講演 | 休室 | 休室 | 休室 |
| 17:20-19:00 | | 懇親会 | | |

平成29年6月28日(水)

| 時間 | 伊藤謝恩ホール | 多目的スペース | ギャラリー 1 | ギャラリー 2 |
|-------------|---|--------------------------------|--|--|
| 10:00-10:30 | 地上LSを知る 「産学連携における大学の役割と地域企業の活性化」 ～地域企業が主役となった地上型レーザーマニュアル作成の過程～ | UAVの利活用 UAVによる防災・災害での取り組み事例 | 地域に求められる技術 ものづくり、まちづくりへ ～地理空間情報の活用を考える～ | ベンダーフォーラム(その2) |
| 10:30-11:00 | | UAVレーザーによる河川測量での取り組み | 地方企業の挑戦～独自技術の開発から全国展開まで～ | ベンダーフォーラム(UAV以外) 15分×7社(衛星ビジネス、他) |
| 11:00-11:30 | 地上レーザー測量マニュアルについて(仮) | UAVを用いた文化遺産の記録保存と管理 | UAVによる3次元レーザー計測の取り組み | |
| 11:30-12:00 | MMSの最新動向 | UAV写真測量の現場実装を加速させる取り組み | UAV等による地域貢献 | |
| 12:00-13:00 | 昼休み | | | |
| 13:00-13:30 | UAVの最新動向 最新のUAV搭載センサーの最新動向と概要 | ALBの最前線 ALBビジネス動向 | プロの世界を知る(ジオメトリストの会) 台風10号災害における地理空間情報技術者の技(仮) | 女性技術者の会 地理空間情報社会を生き抜く ～資格取得に向けて～ |
| 13:30-14:00 | | 航空レーザー測深機(ALB)で水深を測る | 固定翼UAV等による広域被災状況調査 | |
| 14:00-14:45 | | ポスタ展示 | | |
| 14:45-15:15 | UAVマニュアルについて(仮) | ALBによる河川計測事例とその特徴 | 軌道内作業における品質、安全及び工程管理 | 地理空間情報社会を生き抜く ～キャリア形成に向けて～ |
| 15:15-15:45 | | ALBの最前線(仮) | 基準点測量における測量精度を確保するためのプロセス | |
| 15:45-16:00 | まとめ・閉会 | | | |